

サンフレッチェ広島 安芸高田市 スポンサードゲーム 2015

VS ベガルタ仙台



野津田選手の先制ゴールに湧き上がる安芸高田市民大応援団

若手コンビの活躍 光る
16時4分、キックオフ。序盤か

試合前のスタジアムをより一層盛り上げるとともに、安芸高田市が毛利氏ゆかりのまちであることをPR。抽選に当たった50名が参加する、サンフレ選手とのハイタッチでは、憧れの選手を間近に見ることができました。

毎年恒例の毛利武者行列では、試合前のスタジアムをより一層盛り上げるとともに、安芸高田市が毛利氏ゆかりのまちであることをPR。抽選に当たった50名が参加する、サンフレ選手とのハイタッチでは、憧れの選手を間近に見ることができました。

エディオンスタジアムで 安芸高田市をPR

安芸高田市スポンサードゲーム2015が、5月2日(土)、エディオンスタジアム広島で開催されました。

試合開始前のお祭り広場では、ふるさと産品加工所、土師養魚組合などの市内事業所による特産品販売や、市住宅政策課による若者定住促進団地の宣伝、安芸高田市ふるさと応援の会による会員募集が行われ、多くの来場者に安芸高田市の取組をPRしました。

若手選手の活躍により、見事に勝利を手にしたサンフレッチェ。5月初旬とは思えない暑さに加え、連続続きのハードスケジュールの中での試合となりましたが、サンフレ選手の切れるプレーを見ることができ、サンフレッチェサポーターは大満足の試合を観戦することができました。

サンフレッチェは、J1リーグ屈指の強豪チームとして、現在上位グループで首位争いを繰り広げています。サンフレッチェの活躍には、サポーターの応援が必要不可欠です。これからも、市民一丸となり、熱い応援を続けていきたいと思います！

1. 先制シュートを決めるサンフレッチェ広島ユース出身の野津田選手
2. スタジアムを練り歩く毛利武者
3. チームキャプテンの青山選手が笑顔でハイタッチ
4. お祭り広場ではたくさんの特産品を販売
5. バスに乗ってスタジアム入りする選手を迎えるサポーターたち
6. 追加点を奪った浅野選手のシュートの瞬間



担当部署名	事務事業名	事業概要	目標	成果
商工観光課	観光振興事業 (観光マップ作成・まち歩き観光推進事業)	郡山城下を中心としたまち歩き観光を企画し、市観光協会・史跡ガイド協会等と連携したまち歩きマップ等を作成します。	①城下まち資源調査 史跡・城下まちの店舗情報や年間を通じたイベント情報等を掲載した、まち歩きパンフレットを今年度中に作成します。 ②スポット整備 休憩ベンチやのぼり旗等を制作し今年度中に整備します。 ③観光ガイド育成 新たな担い手の発掘やおもてなしの醸成を図るための研修を3月までに実施します。 ④まち歩き観光イベントの実施 武者衣装の着付け体験やまち歩きイベントを10月に実施します。	①城下まち資源調査を行いました。 ・史跡、店舗情報の収集(10月) ・ワークショップの開催(11月) 上記をベースに、まち歩きパンフレットを3月に制作しました。 ②スポット整備を行いました。 ・郡山看板設置(郡山展望台)1基(3月完成) ・のぼり「毛利元就の里」100枚(1月完成) ③観光ガイド育成の研修を行いました。 ・ガイド養成研修(9月実施) ・ガイド養成用マニュアル本作成(山鹿編)(1月製本) ④まち歩き観光イベントを行いました。 ・子供用甲冑購入(2体)(8月購入) ・甲冑まち歩きイベントの実施(4回) 参加者 広島市内他より87名 12/3・12/20・3/7・3/14に実施しました。 上記取組が、中国新聞掲載3回・タウン情報誌等の媒体に掲載されました。
	住宅政策課	住宅対策充実事業 (婚活・若者定住促進支援事業)	①子育て・婚活世代への支援として、引き続き向ヶ丘・上甲立婚活定住促進団地の分譲を行います。 ②民間事業者による、左円住宅跡地の整備を完了し分譲を行います。	①4区画の分譲を行います。 ②民間事業者主体の住宅団地整備を促進します。
建設部	住宅対策充実事業 (空き家バンク事業)	市内にある空き家2,320戸(平成20年度住宅土地統計調査による)すべての空き家実態調査を行い、所有者等への意向調査を基に、空き家の活用促進と適正管理を図ります。併せて利用者への情報提供を行い、空き家を活用した定住促進を図ります。	空き家の活用目標を50件以上とします。	・市内1,902戸の空き家特定、実態調査を行い、所有者の意向調査を実施しました。 ・空き家バンクに32件の登録を行い17件成立しました。
	幹線道路整備事業 (合併支援緊急道路整備促進事業)	【東広島高田道路】 ・吉田側 橋脚1基、橋台1基、側道工事 下流排水対策(用地測量・詳細設計) ・正力側 側道整備工事	地域高規格道路東広島高田道路の早期の完成を目指し、広島県と連携を密にして着実に事業を推進します。	・吉田側の橋脚1基、橋台1基は完成しました。吉田側の側道工事及び正力側の側道工事、側道工事は繰越となりました。 ・下流排水対策の用地測量の一部と詳細設計が完了しました。
	幹線道路整備事業 (国道沿線活性化事業)	国道54号沿線の魅力を高めるため、国土交通省と連携し、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能の基本機能に加え、サービスの充実、防災拠点機能等多機能を備えた「道の駅」の整備を図ります。	地元説明会を開催するとともに、施設の詳細設計及び建物・用地調査業務に着手します。	・平成27年1月26日に国土交通省と市で、地元説明会を開催しました。 ・施設の詳細設計及び建物・用地調査業務は、未着手となりました。
	上下水道課	水洗化向上事業 (下水道の整備)	下水道等排水設備設置普及促進補助金交付制度の活用と併せて、下水道等の加入促進を図り、生活環境を改善します。	市全体の下水道の普及を図り、水洗化率64.0%以上を目指します。
消防本部	未給水区域解消事業 (上下水道の整備)	未給水区域の解消については、ポンピング等の補助により対応していましたが、吉田町の水利を利用するなど、水源を確保することにより未給水区域解消事業に着手しました。 今年度は新たな水源の確保を検討しながら、甲田町山田地区と美土里町本郷・横田地区の水道施設の整備を進め、安芸高田市全体の水道の普及率向上を目指します。	【甲田町山田地区】 ・ポンプ施設1カ所 ・水道管布設工事 L=3,940m(事業完了) 【美土里町本郷・横田地区】 ・取水施設2カ所 ・浄水施設1カ所 ・配水施設2カ所 ・水道管布設工事 L=4,870m	【甲田町山田地区】 管路工事3,534m及び中継ポンプ所整備工事(1カ所)を整備し事業を完了しました。新規加入戸数は32戸となりました。 【美土里町本郷・横田地区】 取水施設2カ所、浄水施設1カ所、配水施設2カ所と、水道管布設工事6,861mを整備しました。 水道普及率は75.3%となりました。
	消防課	消防資機材整備事業 (消防救急無線デジタル化)	電波利用の増大を背景に、電波法関係審査基準が平成15年10月に改正され、アナログ方式(150MHz)の消防救急無線の使用期限が平成28年5月末までとなったことにより、当該期限までにデジタル方式(260MHz)への関係設備の整備を行います。	平成24年度の基本調査に基づき、平成25年度に実施設計を実施。平成26年度は整備を完了し、試験運用を行います。
教育委員会事務局	学校規模適正化事業	小学校統合区ごとに「統合準備委員会」及び「専門部会」を設置し、協議項目について具体的な協議を行います。	【統合準備委員会】は年4回、専門部会のうち「総務部会」及び「教育振興部会」は原則として月1回、「学校史編集部会」は年2回開催し、協議項目である統合時期、位置、通学方法、遠征難通学助成、放課後児童保育、跡地活用などについて合意形成を図ることを目標とします。	小学校統合区ごとに「準備委員会」及び「専門部会」を設置して、保護者や地域にとって関心の高い、通学や、放課後児童保育、跡地の利活用などについて提案し協議を行うことができました。 (可愛・郷野地区) 3月末現在 準備委員会6回実施 総務部会7回実施 教育振興部会2回実施 (八千代地区) 3月末現在 準備委員会6回実施 総務部会1回実施 教育振興部会2回実施 (甲田地区) 3月末現在 準備委員会8回実施 総務部会5回実施 教育振興部会2回実施